

JGN 国際回線の運用について

1 目的

JGN では、NICT をはじめとする関係研究機関間での国際的な共同研究を進めるため、共同研究の基盤となる国際テストベッドネットワークを我が国と諸外国との間で整備・運用し、次世代の情報通信基盤技術の研究開発、標準化、ネットワークを活用する応用技術の研究開発等の推進を図っています。

2 JGN 国際回線の主な仕様

- ① 香港回線
 - (ア)100Gbps 国際専用線
 - (イ)区間： 東京 - 香港
- ② 香港 - シンガポール回線
 - (ア)100Gbps 国際専用線
 - (イ)区間： 香港 - シンガポール
- ③ シンガポール - タイ回線
 - (ア)1Gbps 国際専用線
 - (イ)区間： シンガポール - バンコク
- ④ 米国回線 (TransPAC/Pacific Wave 回線)
 - (ア)100Gbps 国際専用線
 - (イ)区間： 東京 - シアトル

3 利用について

広く海外の研究者にも JGN の研究環境を提供することを基本的な方針とします。また、良好な研究環境を維持するとともに、研究開発の成果の管理を適切に行っていく必要があります。このような考えに基づき、JGN 国際回線の運用について以下のように定めます。

- －JGN 国際回線の利用は、日本国内の研究機関の参加が必要となります。
- －JGN の国際回線を経由し、国内研究機関と海外研究機関が共同研究プロジェクトを行う場合に、国内研究機関は「JGN 利用の手引き」に従った手続きを、海外研究機関は「JGN 利用の手引き」に従った手続き、又は、包括的共同研究契約に基づく覚書を必要とします (図 1 参照)。
- －利用の実態を踏まえ必要に応じ見直すものとします。

・ 図 1：国内研究機関と海外研究機関が共同研究プロジェクトを行う場合

